



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和2年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介 議員
(令和)

プレミアム付き商品券の成果と反省

問 1次販売・2次販売の実績はどうか。

部長 5万セット用意して、1次販売（1世帯1セット）では2万1550セット販売、2次販売では残り2万8450セット販売した。2次販売は、1人5セットまで、代理も可能としたので、最大20セット買えた。2次販売においては、上限の5セットを買った方が一番多く56%であり、午前中で完売した。換金率は、11月27日現在、全体で大規模店が20.6%、飲食店以外の中小事業者が38.8%、飲食店が40.6%である。

問 地域経済循環という意味では効果はあったと思う。しかしながら、家計の二極化が如実に出たと思うが。

部長 次回以降このような事業を行う場合は、幅広く行き渡るようにしたい。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正 議員
(日本共産党議員団)

新型コロナウイルス感染症の急拡大に対応するPCR検査体制、富士保健所・医療体制の強化・充実を

問 医療・介護施設の職員が無料で定期的にPCR検査を受けられるようにすべきと考えるが、いかがか。

部長 現状で検査費用の軽減は図られているが、検査の技術や国の制度でより効果的・安価な方法等が確立されれば、随時検討していく。

要望 検査費用の自己負担1万円が大変な高齢者世帯などに対しても、負担軽減を進めていただきたい。

問 富士保健所の現体制で濃厚接触者の追跡調査などが十分にできているのか。

部長 保健所とは随時、協議の場を設けている。具体的な相談をする中で、市が可能な協力につ

市役所分散勤務の試行と働き方改革の提案

問 分散勤務の試行での課題と感想はどうか。

部長 出先施設において、紙媒体が必要になった時の内容確認に時間がかかった。職員の声として「庁内ネットワークにつながる環境があればどこでも業務ができる」という声があった。

問 これをきっかけに、育児介護等の事由による在宅勤務を提案するのいかがか。

部長 国は地方公共団体のテレワークの導入を推進しているので国の動向を注視したい。

学校給食費の減免制度の拡大について

問 学校給食費の徴収業務は教員の業務なのか。子育てにかかわる支出が増大する中、学校給食費の減免の拡大を提案するのいかがか。

部長 学校給食費の徴収業務は教員の本来的な業務ではない。

市長 家にいても、昼飯を食べる時は親が負担している。保護者の方々には、自分の子どもは自分が育てる意味から、学校給食費（材料費）は負担していただきたい。

いては検討していく。

問 保健師・看護師の有資格者で仕事についていない方に、医療体制への協力依頼をしたらどうか。

部長 内々のお願いはできるかもしれないが、大々的な声かけは今の段階では難しい。

要望 どんな形でやるかは市で考えていただき、ぜひ有資格者の力を生かしていただきたい。

問 市立病院では、コロナ以外の医療で検査や手術に影響はでているのか。

部長 4～6月はコロナへの対応が分からなかったので手術の延期もあったが、現在は検査も手術も順調に行われている。

ナラ枯れの現状と感染拡大防止対策について

問 ナラ枯れ被害の現状調査と感染拡大防止への予算措置をどう考えているか。

部長 ナラ枯れ罹患木のすべてを把握することは困難。ナラ枯れに対する国・県の令和2年度予算は70万円。市として、被害木処理に対する補助金は考えていないが、感染拡大防止などに関する情報提供を行っていく。